Wholesale

卸売事業

多様性で、ニッチを深耕

幅広い事業をラインナップ

卸売事業の大丸興業は、日本、中国、アセアンの3極を中心にビジネスを展開する商社として多種多様な製品・サービスを提供し、原料調達からアフターケアに至るまで、すべての業務でお客様にご満足いただけるよう、時代と市場ニーズへの対応に取り組んでいます。

主な取扱商品は、製品分野では、化学品、包装資材、金属樹脂加工品、住宅・建築素材、電子部品、食品など、サービス分野では、情報システムに関するソリューション提案、損害・生命保険代理店業を通じた保険サービスの提供など、幅広い事業を展開しています。また、百貨店酒売場の業務運営を受託する酒類リテール事業も行っています。

中国、アセアンでの事業展開を強化

大丸興業は、国内では東京、名古屋、大阪など6拠点、海外では上海、香港、南沙、煙台、台北、バンコク、ホーチミン、ヤンゴン、ジャカルタの9拠点、合計15の営業拠点を有しています。

海外拠点のある中国、アセアン地域の人口は約19億人と、世界人口70億人の約3割を占めています。GDPは、現在、世界全体の約12%にとどまっていますが、豊富な労働力や天然資源を背景に、今後さらに経済成長が見込まれる地域です。

これまで同社の海外事業は、国内外から原材料や商品・製品を仕入れ、国内のお客様に納品するビジネスが中心でしたが、今後は中国、アセアンに多くの拠点を持つ強みを活かし、海外事業を強化していきます。2012年1月にはアセアン地域における事業基盤構築のため、タイに現地法人「大丸興業タイランド」を設立。タイ国内での購買・販売、および輸出入業務を行うとともに、アセアン地域の中核拠点として域内の4拠点を活用し、取引の活性化、拡大をはかっていきます。また、中国市場については、上海にある「大丸興業国際貿易」を起点として、電子デバイス分野の強化や中国国内ビジネスの拡大をはかっていきます。

成長分野へ重点化

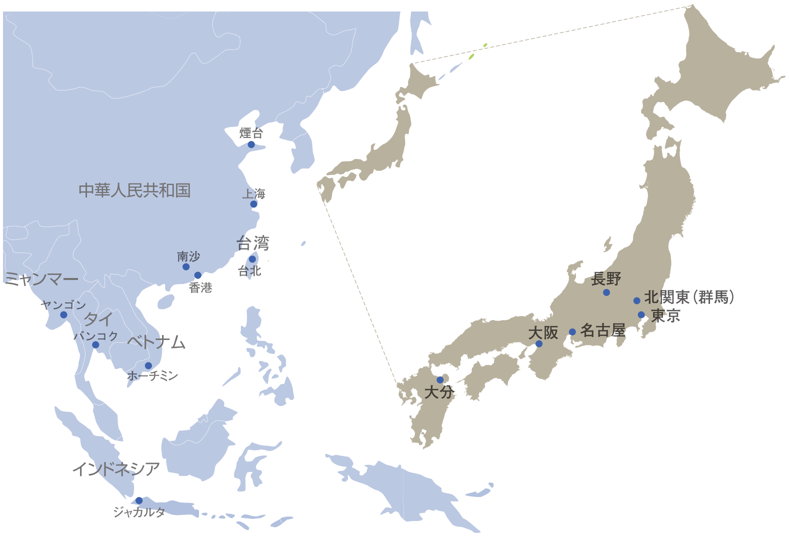
こうした海外拠点を活用するとともに、各事業における成長分野へ重点化した取り組みを進めることで、持続的な成長を目指しています。

具体的な事例として、金属樹脂加工分野では、自動車の技術革新が電気へと大きく転換していく中で、環境対応車向け量産部品の納入に向け、試作案件から積極的に取り組んでいきます。化学品分野では、新たに台湾の化学品原料メーカーと販売代理店契約を結び、取り扱い原材料の拡充によって売上の拡大をはかります。また、食品分野では、中国の加工業者を通じて日本に輸入している北欧産水産加工品の品目の拡大とともに、新たに日本産牛肉の輸出ビジネスを計画しています。

グループ各事業とのシナジー創出

大丸興業は、海苔、椎茸、カニ缶、調味料などの中元・歳暮ギフト好適品を大丸松坂屋百貨店と共同開発し、全国の大丸、松坂屋の各店で販売しています。原材料の選別や加工方法等、品質基準を明確にし、生産から納品までを一手に請け負い、原産地証明や生産エビデンスも万全で消費者の方々にこだわりの商品を安心とともにお届けしています。

また、同社はワインや食材をフランス・イタリアから直輸入し、大丸、松坂屋の各店で販売しています。フランスの著名シェフ ポール・ボキューズ氏の推奨ワインをはじめ、品質・香り・風味にこだわり作り上げられた逸品をセレクトし輸入しています。

こうしたノウハウを活かし、2010年から大丸松坂屋百貨店の店舗において、酒売場の運営を受託しリテール分野に参入。2013年3月現在では、大丸心斎橋店、梅田店、東京店、京都店、神戸店、札幌店、松坂屋名古屋店、静岡店の計8店舗を運営しています。このような、企画・調達から販売までを一貫して請け負う売場運営の受託は、百貨店の業務運営の効率化にも寄与しています。

今後、百貨店だけでなく、通販事業や建装、レストラン等グループ内各企業との連携を深め、さらなるにシナジーを追求していきます。